# 総務省地域情報化アドバイザー優良事業事例

## 優良事業事例団体

団体名:浜松市

■人口 :795,089人(令和4年2月1日現在)

■面積 :1,558.06平方キロメートル

:製造業、卸売業・小売業、農業 ■主な産業

■地域情報化アドバイザー名:下山 紗代子氏、石塚 清香 氏

■派遣対応年度 : 令和3年度

■派遣回数 :3回

■支援形態 :個別アドバイス

:オープンデータ、サービスデザイン ■支援分野 思考、人材の育成・活用等



浜松城と「家康くん」と「直虎ちゃん」

## 優良事業概要

■事業名:オープンデータとサービスデザインのススメ

#### ■事業の概要:

浜松市では「オープンデータプラットフォーム」を整備し、市の保有する公開情報は原則として機械 判読可能なオープンデータとして公開することを目標として掲げてきました。その意義の浸透を図る ため、全庁各課で選任しているオープンデータやHPを担当する職員(広報推進員)を集め、相談会を 開催。職員自らがデータ活用の重要性とサービスデザイン思考を学ぶことにより、使えるオープン データとは何かを考える機会とします。

また、オープンデータの利活用を通じて、行政だけでなんでもやろうとせず「ともに考え、ともにつく る」という職員意識を醸成します。

■アドバイザーへの依頼内容:ありきたりの一方的に「聞く」だけの講座ではなく、ユーモアや本当に あったエピソードをまじえてのアドバイスや、オンラインの「Sli.do」などを活用した「双方向」参加型の コンテンツを依頼しました。

#### 地域情報化アドバイザーから受けた支援内容

#### ■支援を受けた内容:

匿名のオンライン質問ツール「Sli.do」を用いて相談を受け付け、 下山氏には、情報公開によるリスクに対する不安やメリットが想 像できないといった職員への悩みに対するアドバイスを、石塚氏 にはサービスデザインをする上での他部署との連携方法などに ついてのアドバイスを、それぞれ事例を交えてご紹介いただきま した。

Sli.doには「時間が無い」「オープンデータ化の意義が分からな い」と言った趣旨の相談をしている参加者もいましたが、今の行 いが将来的に自分に返ってくるといった観点や、オープンデータ の利活用による具体的なインセンティブについて事例付きでご紹 介いただいたことで、オープンデータやサービスデザインに関心 の薄い参加者の意識改善につながりました。



職員からの相談に応じる 石塚清香氏(左)、下山紗代子氏(右)

### 支援を受けた事業の最新状況

■職員のオープンデータに対する食わず嫌いが改善されました!

浜松市ではここ数年来、「オープンデータプラットフォーム」と呼ばれる、オープンデータを基盤とした 情報発信事業に取り組んでいます。これは、ホームページや各種SNS、AIスピーカーなどの複数の 異なる情報発信媒体の参照ソースを一つのオープンデータで一元的に管理しようという考え方の サービスデザインです。

<支援を受ける前は・・・>

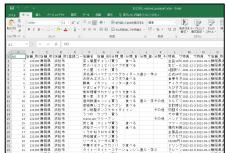
オープンデータプラットフォームを高性能化していくためには、各課が保有する行政情報のオープン データ化を促し、内容を充実させていくことが欠かせません。しかし、オープンデータに対する意識は 各課によってばらつきがあり、担当課によっては「オープンデータ」、「サービスデザイン」という聞きな れない概念に対して、必ずしも積極的ではない「食わず嫌い」的なケースも散見されていました。

#### <支援を受けた後は・・・>

各課から「この情報をオープンデータ化したいんだけど」といった相談が寄せられる機会が増え、支 援後から現在までの短期間で新たに数件の行政情報がオープンデータ化されました。職員間にオー プンデータやサービスデザインの利便性や重要性が浸透したことによって「食わず嫌い」が改善され たように見受けられます。また、前述のオープンデータプラットフォームによって、オープンデータを元 に生成したホームページを公開した事例も出始めています。

#### <事例>ワクチンパスポート参加店舗一覧

https://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp/odpf/opendata/v1.html?m=index&x=221309 vaccine passport



ワクチンパスポートの特典を実施している

店舗のオープンデータから・・・









店舗一覧と個別ページ(画像とマップ付き)を自動生成!!

### 地域情報化アドバイザー制度を知るきっかけ

■今回支援いただいた下山紗代子氏からご紹介いただきましたが、本市では以前にも、市民参加型 の「バリアフリー情報収集イベント」において当制度を利用したことがありました。そのときは、アドバ イザーとして一般社団法人WheeLog代表理事の織田友理子氏を迎え、バリアフリーやICTなどに関す るご講演をいただいたのに加え、イベントコーディネーターも務めていただきました。

### 地域情報化アドバイザー制度に関する評価・感想

#### ■評価•感想 :

複数人のアドバイザーの派遣も可能ということで、今回お二人に相談に乗っていただきましたが、 それぞれ別の立場、別の視点から的確なアドバイスをいただけたことで、より広く深い支援や助言 をいただけました。

また、専門的な立場からの支援や助言により職員の意識の醸成が図られ、利用者目線に立った オープンデータの公開などの取り組みが、より具体的なものとなりました。担当職員は年度ごとに 代わるため、今後も引き続き活用させていただきたいと考えています。